

2級 (H)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
う	こ	く	こ	か	あ	ひ	か	す	は	し	ゆ	ち	ほ	め	ご	ま	す	か	ち	は	て	め	ぐ	ち	ち	い	き	め	そ	
ね	う	ご	と	ん	な	が			ん	ょう	さ	う	う	い	ば	も	う	ん	う	ん	っ	い	ん	よう	う	っ	ん	っ	ん	ん

(一)読み

(30)

(一)読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	エ	ウ	エ	オ	イ	ア	イ	エ	ウ

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	𠂇	宀	土	麻	羽	口	勹	彡	大

(三)熟語の構成 (20) 2×10

(二)部首 (10) 1×10

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
キ	コ	ケ	ク	エ	意味	衆人	熟読	忙中	籠鳥	和衷	垂範	流転	篤実	辛苦	飽食	書き取り

(四)四字熟語 (30) 2×5

(四)四字熟語 (30) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
弦	鶴	一括	一喝	綱紀	光輝	派遣	霸権	天井	添乗

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
厄介	造詣	倫理	左遷	安寧	稚拙	騰貴	凝固	強壯	貪欲

(六)同音・同訓異字 (20) 2×10

(五)対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
早暁	柔軟	惡寒	星霜	万華鏡

5	4	3	2	1
諭す	慌て	賢い	諦める	唆さ

5	4	3	2	1	
怪	尽	粘	複	拈	誤
拐	甚	燃	復	隔	正

(八)漢字と送りがな (10) 2×5

(七)誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
両雄	錦	煙	卑	障	居候	賜	襟	遮	傘	謹	涼	泥酔	捻挫	愛想	疾病	涙腺	逮捕	薰風	把捉

(下へつづく)

準2級 (H)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
わ	い		は	つ		し			さ	え	か	せ	て	せ	じ	こ	し	へ	せ	む	さ	く	り	ふ	じ	そ	は	こ	し
ず	の	う	さ	ぼ	か	ぶ	た	こ	ん	っ	ん	ん	き	き	ん	う	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん
ら	ち		き	に		か			く	け	う	よ	ぎ	ゆ	く	せ	ち	せ	り	さ	く	ち	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん

1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	ア	オ	エ	ウ	イ	イ	エ	イ	ア

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
久	瓦	ル	石	疒	竜	シ	羊	雨	イ

1×10

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
カ	ア	ウ	ケ	キ	意味	奇	俊	奮	端	柔	枯	没	止	戒	若	書き取り

2×5

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
胸	棟	潜	旋	遮	斜	鉛	炎	臭	酬

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
貢	極	公	頑	窮	理	普	決	禁	撤
献	意	表	固	地	論	遍	裂	欲	退

2×10

5	4	3	2	1
潤	壮	乾	顧	生
沢	絶	杯	問	涯

2×5

5	4	3	2	1
涼	及	慰	惑	攻
しい	ぼ	め	わ	める

2×5

5	4	3	2	1	
作	偉	回	賓	裁	誤
索	威	解	頻	載	正

2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
雪		嫌	泥	見	薄	下	喪	幾	充	玄		根	喫	閑	予	検	漠	弁	釈
崩	拒		沼	逃		請		重	血	米	栓	拠	茶	散	鈴	閲	然	償	放

（下へつづく）

第3回 日本漢字能力検定 標準解答

（公財）日本漢字能力検定協会

3
級
(H)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一) 読み
た	お	き	お	こ	ふ	と	あ	う	よ	ひ	そ	し	び	ぎ	ゆ	せ	た	し	い	め	み	し	か	い	ち	し	ご	し	た	
び	お	そ	さ	ぜ	く		さ	れ	め	ようはく	うだつ	ょうにん	こ	ようこ	うげん	つじょく	くばつ	げん	きん	ぼう	りよう	ゅうぜん	んぶう	こん	ちようえつ	っく	うじよう	よくぼう	いざい	(30)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 同音・同訓異字 (30)
イ	ウ	ア	エ	オ	ウ	イ	ア	オ	ウ	オ	エ	ウ	エ	イ	
飽	揚	明	魂	壑	困	抽	鑄	忠	準	遵	潤	耳	慈	似	

2 × 15

5	4	3	2	1	(三) 漢字識別
夕	コ	工	ウ	ケ	
浪	殖	偶	零	掌	

2 × 5 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 熟語の構成 (20)
エ	イ	オ	エ	ウ	ア	ウ	ア	ア	イ	

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五)
ア	ウ	イ	ウ	ウ	エ	イ	エ	ア	ア	部
走	𐤒	𐤓	𐤔	𐤕	斗	口	𐤖	穴	シ	首
										(10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(六) 対義語・類義語 (20)
伏	加	非	略	追	北	護	巖	異	隔	

2 × 10

5	4	3	2	1	(七) 漢字と送りがない (10)
辛 かつ	慕 う	栄 える	弾 ん	蒸 れる	

2 × 5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(ハ) 四字熟語 (20)
一貫	道断	不覺	月歩	犠牲	才色	古今	複雑	笑止	威風	

2 × 10

5	4	3	2	1		(九) 誤字訂正
均	徒	限	得	創	誤	
緊	途	減	匿	想	正	

2 × 5 (10)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(40) 書き取り
焦	哀	齒並	床	抱	大慌	締	苗	幼稚	変換	同伴	没頭	軽装	密着	故障	揭示	腕力	維持	滑走路	平穩	

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

4級 (H)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
むすこ	いねか	おかか	かがや	こが	ではら	きたな	ひた	ほこ	おそ	さんげき	こうりよう	ろうきゆう	えんぐん	はんしよく	せいじやく	ごうかい	いりよう	ぜにん	じゅよう	てんぷ	たいかん	しゅよく	だげき	ぎようぎ	へきめん	めいわく	かびん	もくどく	れんらく

1×30 (30)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ込	エ越	イ肥	エ堤	オ抵	ウ底	ウ称	イ召	エ証	イ執	ウ就	ア秀	イ鮮	ア占	オ専

2×15 (30)

5	4	3	2	1
キ傍	エ載	ケ凡	カ輩	イ継

2×5 (10)

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ穴	ア口	ウ目	イ金	ウ舟	イ見	エ四	ウ之	ア心	エ頁

1×10 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	オ	ア	ウ	イ	エ	ア	イ	エ	ウ

2×10 (20)

5	4	3	2	1
供え	争う	悩ましい	壊れ	足りる

2×5 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
角	技	屈	巨	初	密	却	与	閉	調

2×10 (20)

5	4	3	2	1	
司	量	拍	刻	捕	誤
視	両	迫	告	保	正

2×5 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
材	乾	異	白	失	狂	有	始	致	古

2×10 (20)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
景色	脱	濁	端	荒	劣	頂	絹	脂肪	電圧	環境	恩恵	一般	握力	納税	珍妙	心臓	複雑	信頼	噴出

2×20 (40)

第3回 日本漢字能力検定 標準解答

5級 (H)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
いただき	さっし	す	うちわけ	ちよしゃ	はつき	しんぞう	しよくじゅ	みだ	かいまく	りんじ	きぬ	したが	つうかい	むね	つくえ	こくもつ	われ	おんせん	く

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
8	5	18	12	15	9	6	1	9	5

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ケ	か	才	こ	キ	え	コ	い	エ	く

(二) 部首と部首名記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ア	エ	ア	エ	ウ	イ	ア	ウ

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
疑う	割れる	厳しく	縮める	並ぶ

(四) 漢字と送りかな(ひらがな) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
翌	処	担	誠	刻	難	暖	敵	片	宅

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
層	棒	推	策	延	源	宙	転	討	座

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
創	装	系	経	優	郵	衛	映	値	根

(十) 同じ読み漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ウ	エ	ア	エ	ア	イ	ウ	エ	ウ

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
キ	カ	ウ	ア	ク
イ	エ	ケ	コ	オ

(八) 熟語作り(記号) (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
腹	補	看板	砂糖	拝	骨折	枚数	郷土	洗	染	乳歯	尺八	垂	閉	解除	幼	姿	将来	展示	窓辺

(十一) 漢字 (40) 2×20

第3回 日本漢字能力検定 標準解答

6級 (H)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
か	ゆ た	けい かい	し め	こ た	ふっ こう	しょ ぞく	と	しん がた	あ	せい たい	ま よ	じょ うび	に あ	さ さ	む しゃ	よ	じょ うぎ	ぼ うはん	み き

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
貝	コ	力	才	リ	ケ	木	工	之	ク

(三) 部首名と部首 (10) 1×10

5	4	3	2	1
務 める	久 しく	築 く	燃 える	喜 ぶ

(二) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	イ	イ	ウ	ア

(五) じゅく語の構成(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
12	6	5	1	8	7	14	12	13	9

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
職	留	眼	版	術	増	団	略	質	非

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
率	逆	限	雑	報	鉦	費	史	益	準

(六) 三字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
再	採	災	移	写	慣	観	易	液

(十) 同じ読み漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	ア	イ	エ	ウ	イ	ア	エ	ウ	ア

(九) 音と訓(記号) (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
コ	ア	キ	ク	サ	イ

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
罪	述	校 舎	輸 入	破	評 判	確	欠 航	厚	過	弁 当	独 唱	布	張	指 導	比	額	保 育	内 容	枝

(十一) 漢字 (40) 2×20

7級 (H)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
い ち り	せ い こ う	さ く ね ん	ぶ じ	さ	が い と う	な ら け ん	は た ら	む す	っ	か な ら	な か な お	たい けん	わ ら	あ	か	ぎ よ ぎ やう	ね っ	た よ	っ め

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 漢字えらび(記号) (20)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ウ	ア	ア	イ	ウ	イ	ア	イ	ウ		て	しょう めい	く び わ	さん りん しゃ	こ の	こう ぶつ	は か	しょう りやう	み	まん てん

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1	(六) 対義語(一字) (10)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五) 音読み・訓読み(記号) (20)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
然	低	未	戦	陸		ア	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	イ		総画数					何画目				
																	6	15	12	4	11	5	7	10	8	2

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ				イ			ア			(八) 同じ部首の漢字 (20)	7	6	5	4	3	2	1
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		治 める	飛 ばす	続 く	浴 びる	別 れる	清 い	覚 える
果	栄	末	束	散	改	敗	億	伝	信								

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一		(十) 同じ読み(記号) (20)	8	7	6	5	4	3	2	1
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		隊	帯	賀	芽	課	加	衣	位
イ	才	エ	イ	ア	ウ	オ	ウ	ア	エ									

(九) 同じ読み(漢字) (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
浅	願	建	失	求	祝	卒	塩	城	景	泣	関	巢	材	径	唱	給	英	極	松

(十一) 漢字 (40) 2×20

(一) つぎの 1 線の漢字の読みがなを
— 線の右に書きなさい。

(30) 1×30

- 1 今朝は池に氷がはっていた。
- 2 食後、いねいに歯をみがく。
- 3 原稿用紙の一行目に、題名を書く。
- 4 表に出ると、息が白く見えた。
- 5 筆箱から赤えん筆を取り出す。
- 6 大きながみに全身をうつす。
- 7 バスの発車時、こくをたしかめる。
- 8 先生が、転校生をようかいした。
- 9 妹はおどろいた様子で目を見開いた。
- 10 農家の人に野菜の作り方を聞く。
- 11 学級新聞の第三号が仕上がる。
- 12 わたり鳥が北の国へ去っていく。
- 13 口笛が上手にふけるようになった。
- 14 駅のホームに小さな花だんがある。
- 15 パソコンの使い方を教えてもらう。
- 16 道路に雪がうすらとつもる。
- 17 絵のコンクールに作品を出した。
- 18 節分の日に家で豆まきをする。
- 19 つり橋の上から深い谷を見下ろす。
- 20 雨がふりだす前に、急いで帰る。

童 表 委 横 路
10 5 3 8 4

起 題 死 転 局
10 18 6 11 7

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに
書きなさい。○の中に数字を書きなさい。

(10) 1×10

うかんむり 見守る・寒い
心 意味・悲しむ
さんずい 気温・湖
かねへん 銀行・地下鉄

— うらへつづく —

(三) (一)の中に漢字を書いて、上はんたいの
いみのことばにしなさい。

(10) 2×5

きけん — (安)全
おくれる — (進)む
今 — (昔)
よい — (悪)い
勝ち — (負)け

(四) おなじなかなかの漢字を□の中に書きなさい。

(20) 2×10

(五) つぎの (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十) (二十一) (二十二) (二十三) (二十四) (二十五) (二十六) (二十七) (二十八) (二十九) (三十) (三十一) (三十二) (三十三) (三十四) (三十五) (三十六) (三十七) (三十八) (三十九) (四十) (四十一) (四十二) (四十三) (四十四) (四十五) (四十六) (四十七) (四十八) (四十九) (五十) (五十一) (五十二) (五十三) (五十四) (五十五) (五十六) (五十七) (五十八) (五十九) (六十) (六十一) (六十二) (六十三) (六十四) (六十五) (六十六) (六十七) (六十八) (六十九) (七十) (七十一) (七十二) (七十三) (七十四) (七十五) (七十六) (七十七) (七十八) (七十九) (八十) (八十一) (八十二) (八十三) (八十四) (八十五) (八十六) (八十七) (八十八) (八十九) (九十) (九十一) (九十二) (九十三) (九十四) (九十五) (九十六) (九十七) (九十八) (九十九) (一百)

(20) 2×10

(七) つぎの 1 線の漢字の読みがなを
— 線の右に書きなさい。

(10) 1×10

田んぼも雪におおわれて
あたり一面、真っ白だった。
世界地図を広げて、
行ってみよう国をさがす。
毎年、正月には家族そろって
写真をとる。
お楽しみ会の出し物について
相談する。
宿題をすませてから、友達と
近くの公園で遊ぶんだ。
料理を小さな皿に取り分けて
一人一人に配る。
こん虫がすんでいる場所を
図かいて調べる。
太陽の光が、南向きの
まどからさしこむ。

— おわり —

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

(一) つぎの文をよんで、———の漢字の読みかたを、———の右にかきなさい。

1 お楽しみ会(お楽しみ)で何(なに)をするか、グループ(グループ)ごとに考える。

2 地(ち)めんのあな(あな)から、もぐら(もぐら)が顔(かお)を出(で)した。

3 学校(がっこう)から帰(かえ)って、妹(いもうと)と二人(ふたり)で、おやつ(おやつ)を食(た)べた。

4 池(いけ)のそば(そば)で手(て)をたたくと、黒(くろ)いこい(こい)が近(い)よってき(き)た。

5 遠(とほ)くの星(ほし)にむけて、ロケット(ロケット)をうち上(あ)げる。

6 母(はは)はいつも、りよう理(り)をしながら歌(うた)っている。

7 鳥(とり)が、一羽(ひとひ)高(たか)い木(き)のえだに止(とど)まった。

8 えき(えき)の南(みなみ)がわ(がわ)の道(みち)が、広(ひろ)くなった。

(二) つぎの漢字のふたひとはなんぼんに、読みかたを、———の右にかきなさい。

毎(まい)日(にち) 3
黒(くろ)い 7
友(とも)だち 2
社(しゃ)員(いん) 5
用(よう)意(い) 3
多(おほ)く 6
直(ち)接(けつ) 8
紙(し) 10
切(き) 4
読(よ)み 14

(三) □にひらがなを一字(いちじ)かいて、つぎのことばのよみをこたえなさい。

電力(でんりき) …… でんりく
細(こ)い …… こまかい
生活(せいかつ) …… せいかつ
食(け)後(ご) …… しょくご
早(はや)朝(あさ) …… そうちよう

(四) ○のところは、はなまるか、とめるか、正しいかきかたで○の中(うち)にかきなさい。

家(いへ)の中(うち)の手(て)作(しやう)り
思(おも)い出(で)の同(どう)時(じ)

(五) つぎの文をよんで、———の漢字の読みかたを、———の右にかきなさい。

教室(きょうしつ)のまどをあける。
クイズ(クイズ)の答(こた)えを教(おし)えてもら(もら)う。
親(おや)友(とも)とけんか(けんか)してしま(しま)った。
イルカ(イルカ)の親(おや)子(こ)がおよ(およ)いでいる。
風(ふう)船(せん)がしぼん(しぼん)で小(こ)さく(さく)なる。
ぼうし(ぼうし)が風(かぜ)でとば(とば)され(され)た。
パン(パン)に野(や)さいとハム(ハム)をはさ(はさ)む。
野(の)はら(はら)で花(はな)をかん(かん)さつ(さつ)する。
馬(うま)が二(に)頭(あたま)、草(くさ)を食(た)べている。
ね(ね)つ(つ)があ(あ)って頭(あたま)がいたい。

(六) つぎの漢字の読みかたを、———の右にかきなさい。

ふと(ふと)字(じ) 1 大字(だいじ)
校(がっこう)もん 1 校(がっこう)門(もん)
ゆみ(ゆみ)矢(や) 1 弓(きう)矢(や)
店(みせ)ない 1 店(みせ)内(ない)
はく(はく)米(まい) 2 白(はく)米(まい)
知(し)りあ(あ)い 2 知(し)り合(あ)い

(七) □の中(うち)に、おなじな漢字(かんじ)を、———の右にかきなさい。

海(うみ) 2 汽(き)車(くるま)
兄(あに) 3 つま 4 先(さき)
公(こう)園(えん) 5 国(こく)王(わう)
絵(え)のぐ 6 白(はく)組(ぐみ)
東(とう)京(きよう) 9 交(こう)通(つう)

(八) つぎの漢字の読みかたを、———の右にかきなさい。

心(こころ) 1 体(からだ)
秋(あき) 2 春(はる)
妹(いもうと) 3 弟(おとうと)
貝(かい) 4 魚(いさな)
馬(うま) 5 牛(うし)
新(あたら)しい 10 古(ふる)い
強(きやう)い 9 弱(じやく)い
走(はし)る 8 歩(ある)く
見(み)る 7 聞(き)く
後(あと)ろ 6 前(まえ)

(九) つぎの文をよんで、□の中(うち)に漢字(かんじ)を、———の右にかきなさい。

長(なが)い 1 かみ 2 毛(け)を切(き)って
みじ(みじ)かく(かく)した。
たき(たき)の水(みづ)が岩(いわ)に当(あた)たって
はな(はな)かえ(え)る。
図(ず) 3 書(しよ)かん(かん)に行(い)って
むかし 7 話(わ)の本(ほん)をかりた。

(十) つぎの漢字の読みかたを、———の右にかきなさい。

コップ(コップ)の半(はん)分(ぶん)まで
麦(むぎ) 10 茶(ちや)を入(い)れる。
算(さん) 12 数(すう)のノ(の)ー(ー)ト(と)に
今(こん) 15 夜(や)は、月(つき)がと(と)ても
明(あ)る 17 光(ひか)つてい(い)る。
赤(あか)のしま(しま)もよう(よう)の
マフラー(マフラー)を(を)買(か)った。
げん(げん)かん(かん)の戸(こ)をあ(あ)けて
外(そと)をみ(み)ると、雪(ゆき)が
少(すこ)し(し)も(も)つ(つ)って(て)いた。

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

1 つぎのぶんをよんで、
かん字のよみがなを——
みきに かきなさい。

1 かえての 木のはっぱが

赤く なる。

2 王さまが けらいを

八人 つれて、森へ

かりに 出かける。

3 雨が ふって、学校に

いくみちに 水たまりが

二つ できた。

4 きこのうの 五じかん目は

そとに 出て、あきの 虫や

草を さがした。

五 気 下 四 千 字
2 5 2 3 1 4

日 雨 天 石 林 足
4 8 4 5 8 7

2 つぎの かん字の ふといところ
なんばんめに かきますか。○の
なかに すう字を かきなさい。

糸をと おす。

6 はりの 小さな あなに

あわせて はたらく。

男の人たちが 力を

5 村の ひろい 田んぼで

3 つぎのぶんをよんで、
かん字のよみがなを——
みきに かきなさい。

バスに のって えん 足に いく。

足の つめを きつて もらう。

10月 に まつりが ある。

いけの 水に 月が うつる。

土よう日に サッカーを した。

うえ木ばちに 土を いれる。

らい年 も うみに いきたい。

お年より に けん玉を おそわる。

うらへつづく

4 つぎの ことばの よみがなを だしい
ほうの ばんごうに ○を つけなさい。

男女 1 だんじよ 2 だんじよ

四名 1 よんめい 2 よんめい

左右 1 さいう 2 さいう

一ぴき 1 いつびき 2 いつびき

草げん 1 そうげん 2 そうげん

5 □に ひらがなを 一字 かいて つぎの
ことばの よみを こたえなさい。

小石 …… こいし

こん虫 …… こんちゅう

千本 …… せんぽん

お正月 …… おしょうがつ

十日 …… とおか

6 つぎの □の なかに かん字を かきなさい。

赤 …… 青 はっぱ …… 花

村 …… 町 さかな …… 貝

うみ …… 川 ことば …… 文

ぎん …… 金 きく …… 見る

そと …… 中 すわる …… 立つ

7 つぎのぶんをよんで、
かん字を かきなさい。

1 夕 日が しずむ とき、

2 空 の いろが とても

2 山 の 上 に ある

3 大きな じんじゃへ

は つもうで に い った。

3 ひる 休みに 先生と
しりとりをした。

4 子犬の 耳に 白い
リボンをつける。

5 三 百円で ノートを
買った。

6 こうえんの 入り口に
じてん車が 七だい

7 音が くの じかに
うたにあわせて 手を

たたいた。

おわり

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。